

ぎふ感染症かわら版

令和7年11月27日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

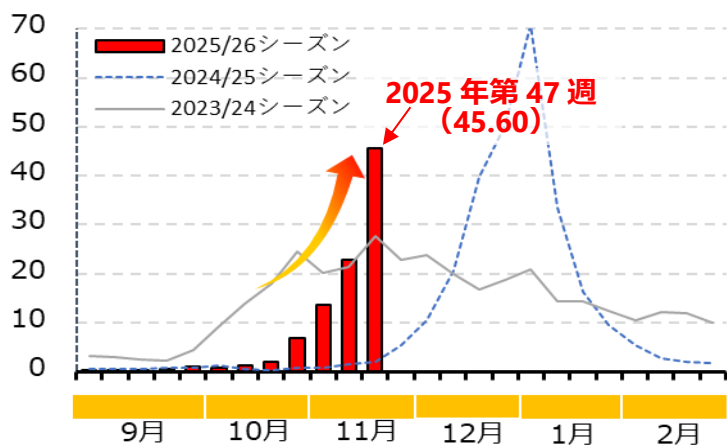


インフルエンザ警報が発表されました！

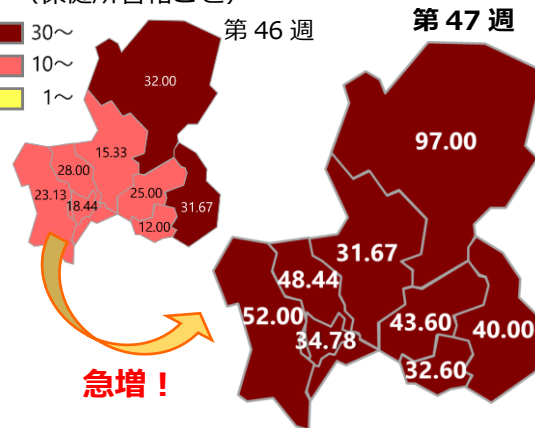
第47週（11/17～11/23）の患者報告数が、県内全域で「定点医療機関当たり30人※」を超えたため、11月27日、岐阜県はインフルエンザ警報を発表しました。昨シーズンよりも早い時期から感染者が急増しています。日常での感染対策の徹底をお願いします。

※岐阜県インフルエンザ注意報及び警報発表要領に定める基準（令和7年9月1日改正）

1 医療機関当たりのインフルエンザ患者数の推移（岐阜県）



1 医療機関当たりのインフルエンザ患者数（保健所管轄ごと）



Memo

一般的なインフルエンザの経過をまとめました。検査のタイミング、人にうつしやすい期間に注目！

感染

発症

検査・投薬（発症から12～48時間）

潜伏期間
(1～3日)

発症期間（発症後3～7日）

〔学校保健安全法では発症日（0日目）～5日目まで、かつ解熱してから48時間まで（幼児は36時間まで）出席停止〕

咳やくしゃみ等の症状が続く場合には、不織布製マスクの着用など周りの人へうつさないよう配慮をお願いします。

周りの人にうつしやすい期間

インフルエンザは、飛沫感染や接触感染によってうつります。

そのため予防には、手洗いや咳エチケットなど、一人ひとりの心がけが大切です。

感染への注意が特に必要な人

◆ 小児、高齢者 及び 持病がある方



かからないために

- 外出後は手洗いを徹底する
- 栄養と睡眠を十分にとる
- 室内は適度な湿度を保つ
- 人込みを避け、マスクを着用する
- ワクチン接種



ほかの人にうつさないために

- 熱や咳などの症状がでたら早めに受診する
- インフルエンザと診断されたら安静にして休養する
- マスクを着用し、咳エチケットを守る



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

